

主な取組成果（令和6年度事業）

全米輸では、日本産コメ・コメ加工品の輸出拡大のため様々なプロモーション・海外市場調査等を実施しています。令和6年度は、主なものとして以下のような事業を実施しました。

①アメリカ展示会(WFFS2025)



- 毎年冬に、ラスベガスを始めとしたアメリカ西海岸の主要都市で開催されている、北米西海岸最大規模の高級食品見本市に、全米輸独自のブースで参加。
- 3日間の開催。1,000以上の世界の企業・団体が出展し、10,000人以上のディストリビューターなどが参加。
- 19会員が出展し、2億円規模の商談成約結果となった。



②フランス展示会(SIAL Paris2024)



- フランスのバリで開催。2年に一度、ドイツ(ケルン)での開催と交互に開催される、ヨーロッパ最大の食品見本市に、全米輸独自のブースで参加。
- 5日間の開催で、7,000以上の世界の企業・団体が出展し、30万人近い輸入関係者が参加。
- 15会員が出展し、2億円弱の商談成約結果となった。



③メキシコにおけるコメ、コメ関連食品プロモーション



- 2023年に日本からの精米輸入が解禁され、日本食への関心の高まっている中、現地の輸入関係者10数社に対して、日本産のコメ、コメ関連商品に関する、セミナー、ワークショップ、試食を通して、全米輸主催の商談会を開催。
- 8会員が参加し、7千万円規模の商談成約結果となった。



④ アラブ首長国連邦におけるコメ、コメ関連食品プロモーション



- 日本食レストラン数が増加しているなど、日本食への関心の高まっている中、現地のディストリビューター等に対して、訪問商談や、20社程度を対象に、日本産のコメ、コメ関連商品に関する、セミナー、ワークショップ、試食を通して、商談会を開催した。
- 9会員が参加し、1億円規模の商談成約結果となった。



⑤ 英国向け日本産コメ・コメ加工品輸出支援事業



- 英国のCPTPP加入により関税撤廃となるコメ・コメ加工品の輸出拡大を目指し、現地の輸入関係者50社程度を対象にした、日本産のコメ、コメ関連商品、日本式カレーに関する、セミナー、ワークショップ、試食を通して、商談会を開催した。
- 7会員が参加し、3千万円規模の商談成約結果となった。
- 当事業はJETRO及び、認定品目団体であるカレー工業組合様との連携事業として実施した。



⑥ 米国における日本産コメおよび日本産水産物プロモーション



- アメリカの東西に比べて手薄な中南部への輸出拡大を目指し、現地のディストリビューター等50社程度を対象に、日本産のコメ、コメ関連商品及び日本産養殖魚類(ぶり、たい)に関する、セミナー、ワークショップ、試食を通じた商談会をヒューストンとマイアミの2都市で開催。
- 加えて消費者向けのPRとして、小売・外食店での販促キャンペーンも行った。
- 10会員が参加し、約5千万円規模の商談成約結果となった。
- 当事業はJETRO、JFOODO及び、認定品目団体日本養殖魚類輸出推進協会様との連携事業として実施した。

